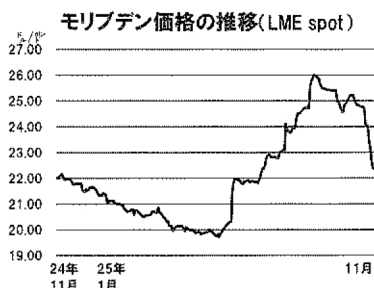


特金 ニッケル同値圏も円安で上昇

11月の特金スクラップ相場は上昇基調になっている。10月のLMEニッケル価格の平均値が前月比0.2%安とほぼ同値圏で推移したが、為替の円安が一段と進みスクラップの採算値は上げ余地が小幅に拡大。これを映し、国内ミルの買値は概ね $\pm$ 5~10円値上がりした。ただ、発生や荷動きは低調ながら需要が全体的に盛り上がり欠けのため、需給は低位で均衡した状態にある。

SUS316についてはモリブデン価格の騰勢が直近では一服し軟化傾向を示すが、為替の円安が支援材料となり概ね上昇。関東の専業大手や高炉大手は前月比5円上げ、西日本地区の特殊鋼ミルは同10円上げとし



た。これを受け市中業者にも同調値上げが広がったが、ある直納筋は「ミル各社は減産でスクラップの引き合いが弱い。そのため買値は理論上と比べかなり低い

水準に抑えられている」と漏らす。

一方、輸出大手は前月に続き横ばいの方針を示唆。韓国向けの需要に対し一定の在庫確保にとどまり、ある納入筋は「当用買いの域を出ない」と話す。

参考指標のひとつ、モリブデンのLMEスポット価格は11月に入って1 $\frac{1}{2}$ あたり24 $\frac{1}{2}$ 台前半に軟化。欧州やアジアで需要が伸び悩む中、南米地域で精鉱の生産が回復したことが弱材料視されているようだ。

なおSUS309は横ばいまたは5円上げ、310は5~10円上げが中心で、価格対応はバラついた。

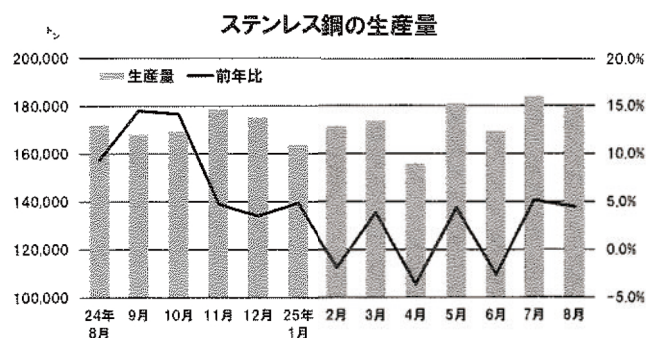
LME相場、他(現地13日)					
	13日前場	前日比(円/t)	在庫量	前日比	前月平均
銅	10,942.00	109.00	136,175	-75	10,696.02
鉛	2,058.50	14.50	223,975	-1,250	1,968.24
亜鉛	3,180.00	0.50	37,800	1,925	3,149.13
アルミ	2,876.00	20.00	553,200	9,125	2,786.30
ニッケル	14,855.00	10.00	251,970	-144	15,079.78
錫	37,650.00	650.00	3,055	0	36,045.87
金(NY)	4,194.50	-19.10	-	-	4,067.30
原油(NY)	58.69	-0.20	-	-	60.07
為替TTS(円/円)	155.74	-0.29	-	-	152.30

※金は1troy ounceあたり※原油は1バレルあたりの25年12月限※為替は日本時間11月14日のTTS

ステン鋼生産 2カ月連続で増加 8月17万9千ト

ステンレス鋼の生産実績が2カ月連続で前年実績を上回った。経済産業統計協会によると、8月の生産量は前月比2.2%減、前年同月比4.5%増の17万9898トだった。安価な輸入材の流入増でニッケル系製品は5カ月連続で前年実績を下回ったが、自動車生産の持ち直しを受けクロム系の生産量が4カ月連続で前年実績から増加。これが全体を押し上げたとみられる。

1~8月の累計生産量は137万9129トで、前年同期比1.8%増となった。年率換算では2年連続の200万ト超えが視野に入るが、直近は減産幅が広がる動きもみられ、



伸び率が鈍化する気配も漂う。

富士マテリアル、高校生の新卒採用活動に注力

(大阪)レアメタルやレアアースのリサイクル事業を展開している富士マテリアル(本社=大阪府大阪市、西尾一社長)は、人材確保に向けた新卒採用活動に注力している。昨年は地元の高校で会社説明会を実施し、今年4月に高校生を1名採用。来年度も高校生1名の入社が内定しているという。

会社説明会では、高校生にとって分かりやすい言葉を用いることを意識し、クイズ形式で事業内容を紹介した。また夏休みの期間中には、高校生を対象とした職場体験イベントを初めて開催した。

今後、採用後はさまざまな研修活動などを導入するなど、教育体制を一層強化していく考えで、西尾社長は「早い段階から社会人として育てていき、業界のイメージをより良くしていきたいと思う。数多くある企業の中から弊社を選んでもらえるのは非常にうれしいので、これからも地域貢献活動に尽力し、特に地元の学生たちの認知向上につなげることができればと思う」とコメントしている。

このほかにも同社は社会貢献活動にも尽力しており、地元の小・中学校にバスケットボールの寄贈などを行っている。